

新築住宅内覧会 VOL.28

12/14(SAT).15(SUN)

OPEN CLOSE
10:00-18:00



妻 朝の家事動線がシンプルになったら、いらいらが減った気がする。「今日はおやつにクッキーを焼いてみようかな」
 夫 休日の昼下がり、息子と並んで流れる雲を見ていたらいつの間にか眠ってた。暫くして鼻をくすぐる香ばしい香りに目が覚めた。
 最近の妻は機嫌がいい。「よし、キッチンにママのお手伝いしにいこう。その前におもちゃ片付けなさい」
 傍らで、眠そうな目をこする息子に声をかけた。
 子 「は〜い」僕のおもちゃ箱はとくせいだ!お家の形をしているんだ。いっぱい遊んだから、みんなお家でおやすみさせてあげなきゃ。
 そんな、何気ない日常の中で、家族みんなの歯車がちよつとづつよい方向にかみ合ったらしいな。そんな思いのつまったお家です。



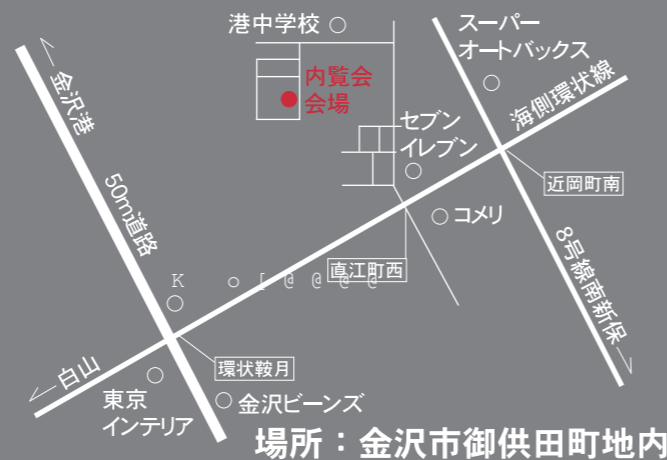
家具から始まる家づくり

建築設計事務所+インテリアショップ=zuiun

詳しい地図はHPを御覧下さい

www.zuiun.jp

zuiun建築設計事務所



突然ですが、「豊かな生活って何だろう・・・？」って問われたなら、一体なんと答えますか？物質的、金銭的な豊かさをあげる人もいれば、趣味の時間が充実している生活と言う人もいるでしょうし、家族健康でささやかながら幸せを感じられる生活、という抽象的な答えもあるかもしれません。この答えはその人の価値観で左右されるものでしょうから、人の数ほどあるでしょう。

それでは、「家」という寝食等の生きていく上での基本的な行動を営むための入れ物であり、また一方で人の一生の中の様々な喜怒哀楽が繰り広げられる舞台、ともいえる面を併せ持つものに、豊かな生活を送るためにできる事ってあるのでしょうか？

私は、ある、と思います。物質的・金銭的な豊かさをあげる人であれば、お金をかければいくらでも豊かな家はつくれるでしょう。具体的に〇〇をしたいから、〇〇を設けようという方法もその人の人生の豊かさにつながるでしょう。でも、そういったダイレクトな手段ではなく、そうなるために、間接的に手助けとなる事もあると思います。

それは、例えば何かしらの「ゆとり」を生み出すための工夫をしておくこと、というのかもしれないでしょう。

私達はこれからお家を建てるようというお客様とは、最初にどんなお家にしたいか、という聞き取りを行います。大抵の方は必要な部屋数やおおよその広さ、予算といったものは比較的簡単に思い浮かぶようですが、「どんな暮らしがしたいか」とか、「お家で楽しみたいことや趣味はありますか」という問いかけには言葉が詰まる方が多いようです。そしてそういったお客様の中には、「昔は映画とか観ていたけれど、今は子育てが忙しくてあまり・・・」等のように仕事や、家事、育児といった生きていく上での優先事項をこなすのに手一杯で、余暇を楽しむ余裕がないという声が多く聞かれます。

考えてみれば当然ですよ。お家を建てるようというお客様の多くは、結婚して子供ができてアパートが手狭になってきたからそろそろ、という方や、子供が小学校や幼稚園に入園するからそれまでに...といったように、子育ての中でも手がかかる時期と重なってしまうのですから。どう生活したいかを考えるより、まずは金銭的に負担にならない程度の予算で、家族がそれぞれの部屋をもつという必要最低限のところから始めて、あとはインテリアの好みとか広めのリビングといったプラスαの要素が増えていくものです。

ゆとりが生むもの

ZUIUN便り vol.28

忙しい時や、気持ちにゆとりがない時、現状が変わる要素が強い時に視覚的に捉えることのできないことを想像しようと思ってもなかなか難しいかもしれません。それでは、その現状をちよつと改善して時間的なもしくは精神的なゆとりを生むことができたなら、ちよつとした日常の中の幸せといった豊かさが生まれたいりしないでしょうか。

例えば、家事動線について考えます。大抵の方は、洗濯するときには他の行為も一緒に行うと思います。洗濯機を動かしながら、朝食の用意をしてご飯が食べ終わった頃に洗濯機が止まって洗濯物を干す、なんて方からキッチンと洗濯機の位置は近いほうがよいでしょうし、夜仕事から帰ってきて夕飯が終わってからとなれば、またその動きに添った動線があるでしょう。それぞれの動きに合わせて無駄のない配置を考えると、ということが大事になってきます。

他に、家事を減らす工夫をするというのもあると思います。掃除にしても、使った人が片付けるような工夫があれば、元の場所に戻す手間が省けるでしょう。そして、時間もゆとりができるけど、ちよつとしたイライラだつて減りますよね。そんな、小さなことだけど、毎日のこととなると大きな差となるところがちよつとでも改善できたら、「今日のご飯はパパの好物にしてあげよう」というようなゆとりが生まれ、それが周りにも伝わったらサザエさん家みたいなほの空気が漂ったりするのかもしれない。

今あげた事は間接的な要素が大きいので、そう上手くいくかどうかは100%ではないですが、上手く機能して毎日積み重なったなら、最初に見えていなかった理想の生活が見えてくるかもしれません。そして、豊かな生活の実現に一步步近づいていくことができるのではないのでしょうか。それが可能となるように、お客様との対話を大事にした家造り、というスタンスでこれからも続けていきたいと思っています。